

# 2017年 年頭のごあいさつ

## 伸展する村政に努力

新年のお祝いを申し上げます。

昨年の年頭あいさつにおいて、平成28年を「激動が予想される新年」と想定しておりましたが、まさしく激動する一年であったように感じています。東京都知事選挙・アメリカ大統領選挙の結果やイギリスの国民投票によるEU離脱など、国内外での大きな動きがあり、これまでのグローバリズムからナショナリズム思想が公然と提唱されるような政治・経済・社会面での動きが見られ、政治、経済の識者からはこの傾向を憂う声もあります。

また、昨年7月の参議院選挙において連立与党の圧勝という結果から、長期政権の様相が確實視されております。政策面では、地方創生の推進から一億総活躍社会の実現と微妙な変化はありますものの、地方の活力をその原点とする方向は間違

いないものと感じていますが、多くの人が懸念する人口減少と高齢化社会への対応は最重要課題とはいえ、一つの社会現象でもあり、国や社会の存立基盤にかかわる問題でもあることから、我々地方自治体のみで解決できる課題とは考えにくいものです。

しかしながら、これまで取り組んできた生活環境の向上と教育施策や施設設備の充実による住みよい村づくりのための施策をさらに伸ばしていかなければならない。そうした施策の展開は、必然的に人口減少対策につながるものと確信しております。

私は、村政を進めるうえで、いかにして村民それぞれが地域で安心して生活できるようにするという視点を最重要視して施策を展開すべく心掛けてきたところであり、この考え方は不変である